

大学院特別講義のご案内

- 日時： 令和3年8月31日（火） 19:00～20:30
- 場所： ZOOM開催予定
- 講師： 大阪大学医学部附属病院 子どものこころの診療センター 平田郁子 先生
- 演題： 「小児の睡眠の問題に連携して取り組む～閉塞性睡眠時無呼吸を中心に～」
- 要旨： 閉塞性睡眠時無呼吸（Obstructive Sleep Apnea; OSA）が小児にもみられることは、一般に十分知られているとは言えないが、小児の1～4%に見られる疾患である。小児のOSAの主な要因は、アデノイド増殖・扁桃肥大でありその摘除術が第一選択であるが、加えて、小顎症、筋緊張の異常など、多様な要因が危険因子となり、治療には科を超えた連携が必要である。今回は、歯科医と小児科医との連携に重点をおいて、診断と治療の流れについて講義する。



問い合わせ先： 口腔生理学教室 加藤（2882）
顎顔面口腔矯正学教室 山城（2958）

* “口の難病セミナー” を兼ねます。

大学院特別講義のご案内

- 日時:令和3年10月12日(火)17:30～19:00
- 場所:F棟5階 弓倉記念ホール
- 講師:堀 一浩 先生
新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野

- 演題:「咀嚼の質と量」

- 要旨:

咀嚼運動は、口腔内に取り込んだ食物を粉碎し、唾液と混ぜ合わせて嚥下できる食塊とする一連の動きである。言うまでもなく補綴治療の目標は、形態学的回復だけではなく機能回復その中でも特に咀嚼機能の回復には主眼が置かれるべきである。これまで、多数の咀嚼機能評価が開発・報告されてきたが、多くはある食品を粉碎・咬断・混和した際の咀嚼能率といった点から評価される。一方で、「よく噛めないから丸のみしている」「よく噛めないから食事に時間がかかる」といった訴えは、補綴診療時においてよく聞かれるにもかかわらず、咀嚼回数などの観点からの評価法は非常に少ない。

本講義では、咀嚼の「質」としての咀嚼能率評価と、「量」としての咀嚼行動に関する研究について紹介したい。

(問い合わせ先:有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線:2954)
※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2021年10月19日（火） 17：30～19：00
- ◆ 場所： F棟5階弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 東京医科歯科大学教授 松尾 浩一郎先生
- ◆ 演題： 病院歯科を通して考える高齢者歯科医療
- ◆ 要旨： 多様性を有する高齢者への歯科治療は、今までの健常者ベースの歯科治療だけでは困難であり、歯科医療に対する概念の再構築が必要であると考えます。入院患者への歯科治療では、口腔内の問題解決だけでなく、全身の感染症や栄養も考慮し、他職種と連携を取り、全身疾患や障害に配慮しながら歯科治療を行います。ここには凝縮された高齢者歯科医療が存在します。今回は、私が経験してきた病院歯科での取り組みを通して、これから的高齢者歯科医療について述べたいと思います。

問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野（内線2954）

※「口の難病」セミナーも兼ねます

大学院特別講義のご案内

- 日時： 令和4年1月21日（金） 18:00～19:30
- 場所： ZOOM開催予定
- 講師： 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 全人的医療開発学講座 歯科心身医学分野
教授 豊福 明 先生
- 演題： 「取れない歯痛、合わない咬合へのアプローチ～生理学への期待～」
- 要旨： ほとんどの歯科治療は、通法通り施術すれば良好な結果が得られるものである。ところが手技的には間違いがないにもかかわらず、客観的にも異常所見は認められないにもかかわらず、いつまでも改善しない痛みや違和感に悩まされることも時に経験される。「不定愁訴」と敬遠されがちな、これらの歯科的症状の病態解明と有効な治療技法の開発・改良を演者らは目指してきた。臨床上の作業仮説には基礎研究による検証が伴わなければ、大きな進歩発展は期待できない。我々の臨床研究の取り組みと、仮説検証に向けた生理学への期待をお話したい。
 - 1) Tu TTH, et al. Phantom bite syndrome: Revelation from clinically focused review. World J Psychiatr 2021; 11(11): 1053-1064
 - 2) Tu TTH, et al. Current management strategies for the pain of elderly patients with burning mouth syndrome: a critical review. Biopsychosoc Med. 2019 Jan 31;13:1.



* “口の難病セミナー”を兼ねます。

問い合わせ先： 口腔生理学教室

加藤（2882）